

[TOP page](#)
[資料室](#)
[イベント情報](#)
[講師を探す](#)
[Worker's 広場](#)
[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | [二宮尊徳伝 \(1 2\)](#)
[労働組合](#)
[労働者福祉・共済](#)
[一般教養](#)
[社会保障](#)
[労使トラブル法律相談Q&A](#)
[労働関係法](#)
[経営全般](#)
[人間関係とコミュニケーション](#)
[ライフプラン](#)
[男女共同参画](#)
[公務員関係法](#)
[日朝の歴史](#)
[7つの習慣](#)
[中東の歴史](#)
[ボランティア活動](#)
[環境活動](#)
[社会貢献活動](#)
[自己啓発](#)
[生涯学習](#)
[外交・防衛問題](#)
[資本論](#)

二宮尊徳伝 (1 2)

尊徳が子ども時代から独学で学んでいた書物は、いわゆる「四書五経」と呼ばれるものです。

四書とは「論語」「大学」「中庸」「孟子」です。

五経とは「易経」「書経」「詩経」「礼記」「春秋」です。

これらの学問を基礎として、心眼ともいえる鋭い自然観察眼と、自分自身の実生活体験が積み重なってできてきたわけですから、ほんとうに深みのある思想哲学になっています。

仕法が概ね初期の目的を達成すると尊徳は、その安泰な状態を永久に持続させ、来るかもしれない凶作・凶荒に備えることが次の仕事だと考え始めます。

五経のなかの礼記に「3年の蓄えなきは国その国にあらず」という言葉がありますから当然の結果だといえ当然です。

さて私たちが今、備えるべきこと、貯えるべきものはなんのでしょうか？

尊徳50歳の時です。

鳥山藩（栃木県）から飢饉に苦しむ民衆を救って欲しいと和尚がやってきました。

面会に応じた尊徳は和尚にこう教え諭し、応援することを断りました。

「飢えた民を救うのは藩主や家老のなすべき仕事です」

尊徳の意を汲み取った和尚は藩へ戻り家老に相談します。

家老も藩の窮状を憂っていましたから、殿様に話し、殿様の直書をもらって和尚と共に尊徳を訪ねます。

今度も尊徳は家老にこんこんと諭しました。

「あなたたちの任務は、天の生んだ民を預かって、これを養い、恵み、安んずることにある。

それなのに藩主も家老も、そのことを分からずに人の上に立ち、もっぱら衣食に飽き、安逸を貪っている。

それで任務を果たしているといえるのか」

家老は尊徳の厳しい叱責を肝に銘じて藩へ戻りました。

その後、藩で議決されると、本格的な仕法が始まります。

家老は尊徳の勤めに従って俸禄を辞退し、不急の軍備品を売却して仕法のための基金をつくります。

翌年は豊作であったことが幸し、家中には分度以上の収穫米が集まりました。

(1 3) に続く

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

[教育カリキュラム](#)

[日本国憲法](#)

[傾聴](#)

[語り部スキル](#)

[▶ キーワード検索はこちら](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.